広域環境保全の推進について
（令和３年度の事業概要）

※　実績は９月末時点

令和３年10月16日

広域環境保全局

資料1

目　次

○　関西広域環境保全計画の概要について

○　事業内容

（1）地球温暖化対策の推進について

（2）自然共生型社会づくりの推進について

（3）循環型社会づくりの推進について

（4）環境人材育成の推進について

関西広域環境保全計画の概要について

関西広域環境保全計画の概要について

１　計画の趣旨

これまでの広域環境保全計画の成果や課題を踏まえ、広域に取り組むべき環境保全施策について整理するとともに、構成府県市と役割分担しつつ、広域的に取り組むことが住民生活の向上や効率的な事務の執行につながる施策について定める。

２　計画期間

令和２年度から令和４年度（３年間）

３　目標、目指すべき姿

＜目標＞

地域環境・地球環境問題に対応し、環境・経済・社会の統合的向上による持続可能な関西の実現

◆将来像１　豊かな暮らしと元気な産業が実現された低炭素社会
◆将来像２　生物多様性が保全され、その恵みを身近に感じる自然共生型社会
◆将来像３　すべてのものを資源と考える循環型社会
◆将来像４　持続可能な社会を担う人材の充実
◆将来像５　安心・安全な環境に支えられた歴史と文化の魅力あるまち

４　広域環境保全計画の施策に関する３つの視点

視点１　スケールメリットを活かす

関西広域連合が実施することで、府県市による個別実施よりも効果的、効率的に実施することができる。あるいは構成府県市域を越える地域において実施することが必要な施策を実施できる。

（例）　府県域を越えて移動するカワウの生息動向・被害状況調査については、各府県市よりも関西広域連合で実施する方が、効率的に行うことができる。

視点２　方向性の提示

府県市が各々の実情を踏まえて行う取組に対し、関西広域連合が方向性を提示することで、それらの取組に統一感が生まれ、効果をより高めることができる。

（例）　「関西エコスタイル」の啓発活動に用いるポスターを全構成府県市統一のデザインにすれば、人々が目にする機会をより多くすることができる。

視点３　優良事例の波及

構成府県市の優良事例を、関西広域連合が各構成府県市に波及させることで、関西全体の底上げを図ることができる。

（例）　幼児への環境学習の推進については、そのノウハウの蓄積が充分でない地域もあるが、関西広域連合と構成府県市が協力して優良事例のモデル実施を行うことにより、ノウハウを共有することができる。

関西広域環境保全計画の概要について

５　広域環境保全局における事業体系

（１）地球温暖化対策の推進
- ア　住民・事業者啓発事業
- イ　次世代自動車普及促進事業
- ウ　再生可能エネルギーの導入促進事業

（２）自然共生型社会づくりの推進
- ア　生物多様性に関する情報の共有および流域での取組による生態系サービスの維持・向上
- イ　関西カワウ広域管理計画の推進
- ウ　広域連携による鳥獣被害対策の推進

（３）循環型社会づくりの推進
- 3R等の統一取組の展開

（４）環境人材育成の推進
- 人材育成施策の広域展開

（1）地球温暖化対策の推進について

（１）ア　住民・事業者啓発事業
（１）イ　次世代自動車普及促進事業
（１）ウ　再生可能エネルギーの導入促進事業

広域環境保全局　CO_2ネットゼロ推進課

（1）地球温暖化対策の推進について

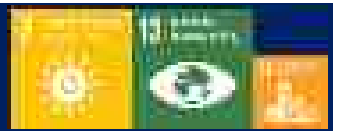
（１）ア　住民・事業者啓発事業

（１）イ　次世代自動車普及促進事業

（１）ウ　再生可能エネルギーの導入促進事業

広域環境保全局　CO_2ネットゼロ推進課

（1）ア　住民・事業者啓発事業



事業概要

事業名　：住民・事業者啓発事業

取組内容：①関西エコスタイル、省エネ家電への買い替え等の呼びかけ

②関西エコオフィス運動の展開

③地球温暖化防止活動推進員・推進センター関西合同研修会

各取組の概要

①関西エコスタイル、省エネ家電への買い替え等の呼びかけ

取組の方向性を提示し、統一的にPRすることにより、一層の効果が期待でき、効率化が図ることができる取組について、統一キャンペーンを実施する。

②関西エコオフィス運動の展開

オフィス等の省エネ行動を促進するために、関西エコオフィス宣言事業所を募集し、また、優れた事例を水平展開するために取組事例集の作成等を実施する。

③地球温暖化防止活動推進員・推進センター関西合同研修会

温室効果ガス削減対策の推進のため、各府県の地球温暖化防止活動推進員・推進センターの合同研修会を実施し、住民啓発活動のレベルアップを図る。

令和３年度　事業内容 ①
（関西エコスタイル、省エネ家電への買い替え等の呼びかけ）

○統一省エネキャンペーンの実施

期間を定め、構成府県市内で一斉に啓発を実施。
同デザインのポスターで呼びかけをすることで、
スケールメリットを生かした省エネ啓発を実施した。

- **関西 夏のエコスタイル**
  期間：令和３年5月1日～10月31日
  内容：夏季の適性冷房、軽装勤務など

- **関西 夏の COOL CHOICE**
  期間：令和３年7月1日～10月31日
  内容：夏季のCOOL CHOICE取組、再配達防止

- **関西 冬のエコスタイル（予定）**
  期間：令和3年12月1日～令和4年3月31日
  内容：冬季の適性暖房、軽装勤務など

- **関西 省エネ家電買替運動**
  期間：令和3年6月1日～令和4年1月31日
  内容：省エネ性能の高い家電への買替呼びかけ

家電買替に対し興味・関心を持つ層向けに、インターネット広告を掲載
期間：令和3年7月12日～8月11日

（1）ア　住民・事業者啓発事業

令和３年度　事業内容 ②
（関西エコオフィス運動の展開）

○関西エコオフィス宣言事業所の募集

環境配慮の取組を行う事業者に、「関西エコオフィス宣言」を募集し、地球温暖化防止活動の裾野を拡げる「関西エコオフィス運動」を実施。

◆宣言事業者数の推移

令和３年3月末時点 1,768事業所 ⇨ 令和3年９月末時点 1,790事業所

事業所の統廃合による減少もあるが、全体として増加傾向

・宣言ポスター、募集ちらし等による宣言呼びかけ

SDGs の要素を盛り込み、エコオフィス運動の更なる発展を図るために、宣伝ポスターや募集チラシを作成し、広く宣言を呼びかける。

宣言事業所には、宣言登録証とともに、ポスターを配布。

関西エコオフィス宣言ポスター

○宣言事業所の取組紹介

宣言事業者に対し、令和２年度の取組事例紹介を募集。

連合HP内において業種別に取組を紹介することで、事業者間での水平展開を図る予定。

＊19事業所より取組紹介（R元年度）　R2年度の取組は秋頃HPで紹介予定

令和３年度　事業内容 ③
（地球温暖化防止活動推進員・推進センター関西合同研修会）

住民啓発活動のレベルアップ、優良取組事例の共有を図ることを目的として研修会を実施予定。

日　　程 ： 令和４年1月（予定）
主　　催 ： 滋賀県
方　　法 ： オンライン開催（Zoom）
出 席 者 ： 未定

◆本年度のテーマ（予定）

①コロナ禍における啓発活動
②脱炭素に向けて必要な取組

⇨ 他の団体はどのような取組を行っている？特に今、気になる部分の取組を共有！

研修会内容（未定・内容は前年度のもの）

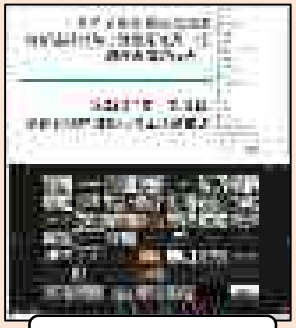
- **推進員によるオンライン取組事例発表**

事例①：Youtubeを活用した夏休み自由研究オンライン講座

事例②：オンライン寄付サイト活用

- **講師による講演**

脱炭素の地域づくりに向けて期待されるこれからの取組
滋賀県立大学　講師　平岡 俊一 氏



研修会の様子

（1）地球温暖化対策の推進について

（１）ア　住民・事業者啓発事業

（１）イ　次世代自動車普及促進事業

（１）ウ　再生可能エネルギーの導入促進事業

広域環境保全局　CO_2ネットゼロ推進課

（1）イ　次世代自動車普及促進事業

事業概要

事業名　：次世代自動車普及促進事業

取組内容：①次世代自動車給電機能の活用促進

②次世代自動車啓発動画の作成

③災害時協力協定の締結に向けた課題の検討

④「物流ＭａａＳ」の実証に向けた検討

各取組の概要

①次世代自動車給電機能の活用促進

各種イベント等で車両の展示や啓発資材等による平時・災害時における外部給電機能を活用した次世代自動車のＰＲを実施する。また、企業（自動車メーカー等）と協働し、次世代自動車について楽しく学べるイベントを開催する。

②次世代自動車啓発動画の作成

より多くの方に次世代自動車の魅力を発信するため、次世代自動車の環境性能や外部給電機能を紹介する動画を作成し、連合ＨＰ、YouTube等で公開する。

③災害時協力協定の締結に向けた課題の検討

災害時での次世代自動車の外部給電機能の活用に関して、企業等と連携した取組（災害時協力協定の締結等）について情報収集や課題等の検討を行う。

④「物流ＭａａＳ」の実証に向けた検討

物流分野（特に支線物流）における電動商用車両の活用について、関係団体、企業等と情報交換を行い、事業化に関する検討を行う。

令和３年度　事業内容 ①
（次世代自動車給電機能の活用促進）

各種イベント等で車両の展示や啓発資材等による次世代自動車のＰＲを実施する予定

○ 啓発を行う予定のイベント（新型コロナウイルス感染症の状況により中止等の場合有り）

令和3年10月	ふれあいフェスティバルin神戸	兵庫県
令和3年11月	兵庫カーライフフェスタ2021	神戸市
令和3年11月	おもしろミライまつり2021	和歌山県
令和3年12月	再エネアグネスイルミネーション	京都市
令和3年12月	水素普及啓発イベント（仮）	徳島県
令和４年　3月	次世代自動車展示会	滋賀県

（1）イ　次世代自動車普及促進事業

令和3年度　事業内容 ②（次世代自動車啓発動画の作成）

子どもや親子で視聴できるような分かりやすい内容の動画（5分程度×2本）を作成（令和３年8月末）し、連合ＨＰ、YouTubeで公開している。

令和3年度　事業内容 ③（災害時協力協定の締結に向けた課題の検討）
事業内容 ④（「物流ＭａａＳ」の実証に向けた検討）

次世代自動車導入促進に関する担当者会議を開催

〇第1回　令和３年７月２０日（火）

- 令和３年度事業および予算について
- 脱炭素社会の実現に係る宣言に向けた検討について

〇第2回

- 企業との意見交換（ヒアリング）を予定

（1）地球温暖化対策の推進について

（１）ア　住民・事業者啓発事業

（１）イ　次世代自動車普及促進事業

（１）ウ　再生可能エネルギーの導入促進事業

広域環境保全局　CO_2ネットゼロ推進課

（1）ウ　再生可能エネルギーの導入促進事業

事業概要

事業名　：再生エネルギーの導入促進事業

取組内容：①効果的な施策推進に関する情報収集・調査研究・情報発信

②再生可能エネルギー導入の担い手となる人材育成

各取組の概要

①効果的な施策推進に関する情報収集・調査研究・情報発信

様々な地域資源を活用した先進事例等の情報共有や促進方策の検討をするとともに、支援制度等の情報を発信することにより、実状に応じた効果的な導入促進を図る。

②再生可能エネルギー導入の担い手となる人材育成

地域における再生可能エネルギー導入の担い手となる人材を育成するために、省エネ事業者、自治体職員等を対象とした研修会を実施する。

令和３年度　事業内容 ①
（効果的な施策推進に関する情報収集・調査研究・情報発信）

(1)再生可能エネルギー導入に関する担当者会議を開催

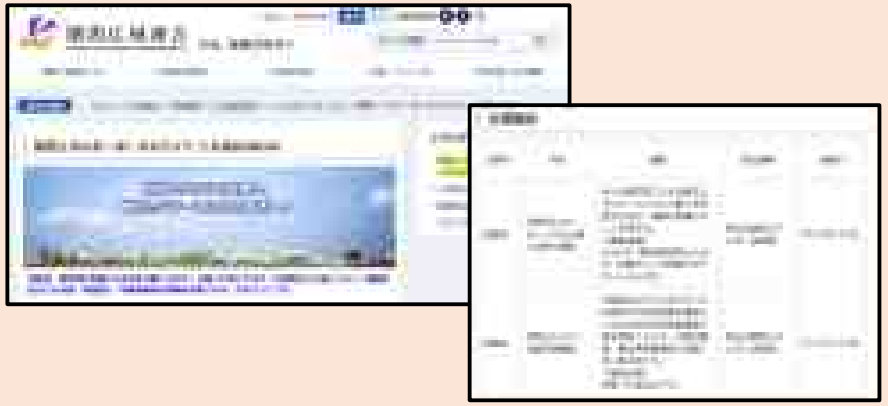
〇第1回　令和３年８月３０日（月）

- 令和３年度事業および予算について
  （エネルギーポータルサイト、再エネ導入促進に向けた人材育成研修会）
- 脱炭素社会の実現に係る宣言に向けた検討について
- 再生可能エネルギー共同購入事業の検討について

情報共有

再エネ電力グループ購入事業（京都府）
太陽光発電及び蓄電池システムの共同購入支援事業（大阪府）

(2)エネルギーポータルサイトの更新（８月11日）



（1）ウ　再生可能エネルギーの導入促進事業

令和３年度　事業内容②（再生可能エネルギー導入の担い手となる人材育成）

再エネ導入促進に向けた人材育成研修会

（テーマ未定）

日　　程：令和４年１月以降

開催方法：オンライン開催

参加人数：１００名程度

内　　容：（講演３０分＋質疑５分）×３名程度

昨年の講演内容
講演①「TJグループが実践する木質バイオマス電力の地産地消について」
東野隼士 氏（TJグループホールディングス株式会社 代表取締役）
講演②「地域住民主体の小水力発電と地域づくり」
平野彰秀　氏（特定非営利活動法人地域再生機構副理事長）

アンケート結果

施策運営目標（アウトカム数値）

事業名	住民・事業者啓発事業	次世代自動車普及促進事業	再生エネルギーの導入促進事業
アウトカム指標 （目標数値）	新規宣言事業所 （20事業所以上）	「次世代自動車への 関心が高まった」回答率 （80%以上）	研修会等参加者の 再エネ導入の意欲向上度 （90%以上）

（２）自然共生型社会づくりの推進について

（２）ア　生物多様性に関する情報の共有および流域での取組による生態系サービスの維持・向上
（２）イ　関西カワウ広域管理計画の推進
（２）ウ　広域連携による鳥獣被害対策の推進

広域環境保全局　自然環境保全課

（２）自然共生型社会づくりの推進について

（２）ア　生物多様性に関する情報の共有および流域での取組による生態系サービスの維持・向上

（２）イ　関西カワウ広域管理計画の推進

（２）ウ　広域連携による鳥獣被害対策の推進

広域環境保全局　自然環境保全課

（2）ア　生物多様性に関する情報の共有および流域での取組による生態系サービスの維持・向上

事業概要

事業名　：生物多様性に関する情報の共有および流域での取組による生態系サービスの維持・向上

取組内容：関西の活かしたい自然エリアの保全・活用
1.関西の活かしたい自然エリアエコツアー体験
2.自然エリアのモデルコースの検討

各取組の概要

関西の活かしたい自然エリアの保全・活用

関西の活かしたい自然エリアの保全・活用を進めるため、エコツアーに着目し、自然エリアを活用したエコツアー体験を実施するとともに、モデルコースを作成する。

関西の活かしたい自然エリア（平成28年度公表）

令和３年度　事業内容
（関西の活かしたい自然エリアの保全・活用）

１．関西の活かしたい自然エリアエコツアー体験学習

琵琶湖第一疏水の見学(R2年度)

昨年度に検討・作成したモデルコースから選定し、体験学習を実施する。
令和３年度は、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら実施を検討する。

２．自然エリアのモデルコースの検討

令和４年度末までに関西の活かしたい自然エリア全23エリアのモデルコースを作成することを目標に、令和３年度は7エリアのモデルコースを作成を予定している。

【令和３年度モデルコース作成エリア（予定）】
- エリア１「山陰海岸・若狭湾沿岸」
- エリア８「大阪平野南部」・エリア11「伊吹山地」
- エリア18「金剛山地・和泉山脈」
- エリア19「六甲山地」・エリア12「四国山地東部」
- エリア23「阿讃山脈」

（２）自然共生型社会づくりの推進について

（２）ア　生物多様性に関する情報の共有および流域での取組による生態系サービスの維持・向上

（２）イ　関西カワウ広域管理計画の推進

（２）ウ　広域連携による鳥獣被害対策の推進

広域環境保全局　自然環境保全課

（2）イ　関西カワウ広域管理計画の推進

事業概要

事業名　：関西カワウ広域管理計画の推進

取組内容：①モニタリング調査
1.カワウ生息動向調査
2.被害状況・被害対策状況の把握
②カワウ対策事業

各取組の概要

①モニタリング調査

関西全体のカワウ被害を総合的・効率的に削減するための効果的な対策方法の検討、対策効果の評価、水産被害状況の把握等をするために、モニタリング調査や情報の取りまとめを実施する。

②カワウ対策事業

専門家を対象の地域に派遣すること等により、対策検証事業で得られた知見や成果を広域連合圏域全体に展開させ、地域ごとの対策の推進を行うこと、および関西地域のカワウ管理の推進を図るために行政担当者の育成を行う。

令和３年度　事業内容 ①（モニタリング調査）

1．カワウ生息動向調査

平成23年度から春、夏、冬にカワウのねぐら箇所数（コロニー含む）と個体数の調査を実施。

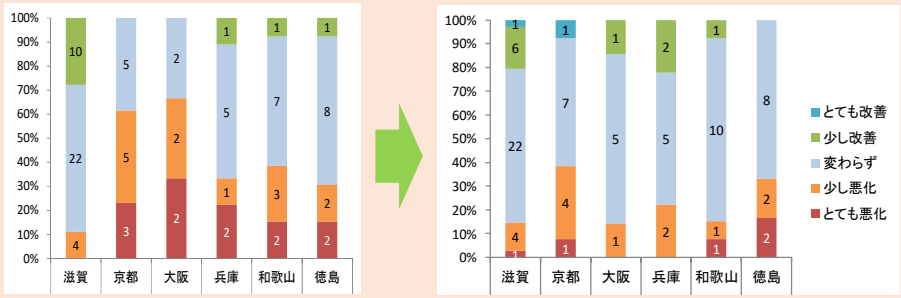
令和３年春期の調査結果は、ねぐらが94箇所で前年から4箇所増加した。

個体数は15,646羽で、前年より3千羽強増加しており、京都府、兵庫県以外で増加した。

繁殖期を迎え頭部が白化したカワウ

2．被害状況・被害対策状況の把握

平成24年度から各漁協に対し、年間を通したカワウの飛来、被害、対策の状況を「被害対策シート」に記入してもらう形で調査を実施。昨年度までの調査で被害の状況は、徐々に改善している傾向が見られる。



H25　　R2

漁協被害調査結果の変化

（2）イ　関西カワウ広域管理計画の推進

令和３年度　事業内容②（カワウ対策事業）

カワウの被害対策は、被害の状況に応じた計画の作成と、地域の関係者が主体的・継続的に計画を実行することが重要である。

このため、事業としては、専門家を派遣し、モニタリング調査結果等の広域的な情報を提供することによる地域毎のカワウ対策を検討する府県市の支援や、府県市における第二種特定鳥獣管理計画や地域実施計画の策定につながるよう、行政担当者を対象に、カワウの生態や実際の地域における対策等の研修を行い、行政担当者の育成を行う予定をしている。

令和３年度は、行政担当者の育成として以下の研修を予定している。

■ 開催日　令和３年10月15日(金)

■ 対象者　府県・市町村の担当者

■ 場　所　オンライン開催

■ 内　容

・カワウの生態と管理の基本
　特定非営利活動法人　バードリサーチ

・地域におけるカワウ対策の合意形成と対策の進め方
　㈱野生動物保護管理事務所

・天竜川流域におけるカワウ対策の合意形成と実施
　静岡県水産課

・天竜川流域におけるカワウ対策の合意形成と今後の予定
　長野県園芸畜産課

ワークショップの様子
(R2年度)

研修の様子(R2年度)

（２）自然共生型社会づくりの推進について

（２）ア　生物多様性に関する情報の共有および流域での取組による生態系サービスの維持・向上

（２）イ　関西カワウ広域管理計画の推進

（２）ウ　広域連携による鳥獣被害対策の推進

広域環境保全局　自然環境保全課

（2）ウ　広域連携による鳥獣被害対策の推進

事業概要

事業名　：広域連携による鳥獣被害対策の推進

実施事業：①広域的なニホンジカ被害対策の推進
　　②広域連携による外来獣等対策の推進

各取組の概要

①広域的なニホンジカ被害対策の推進

公共事業としてのニホンジカの捕獲事業を担うために、モデル地域での試行的捕獲から得られた知見を基にしたガイドライン等の作成・更新や人材育成講座など、より専門的で高度な計画立案、統率された捕獲作業を監理できる人材の育成を図る。

②広域連携による外来獣等対策の推進

外来獣等による生態系被害等が深刻化していることから、外来獣や懸案となる鳥獣等の対策について、実施体制の充実を図るために、市町村が実施する有害捕獲事業の講習テキストの作成や講習会の支援等を行い、捕獲事業が安全かつ効果的に実施されるよう取組を進める。

令和３年度　事業内容 ①
（広域的なニホンジカ被害対策の推進）

令和３年度は、次のとおり予定している。

○ 試行的捕獲の実施と評価
モデル地域（徳島県名東郡佐那河内村）において、谷あい等の狭いオープンスペースの誘引狙撃を実施し、検証を行う。

○ 公共事業としての捕獲業務の情報備蓄
捕獲業務の評価の仕組みを検討するため、業務実施に必要な業務計画、許可申請手続き、現地作業、成果品等の情報の整理を行う。

○ 受託者育成テキストの作成
業務管理、安全管理や組織体制の構築等が的確に行われるようテキストを作成する。

○ 人材育成研修の実施
構成府県市が委託発注する現場や試行的捕獲を題材にOJT実習を含めた講座を開催する。

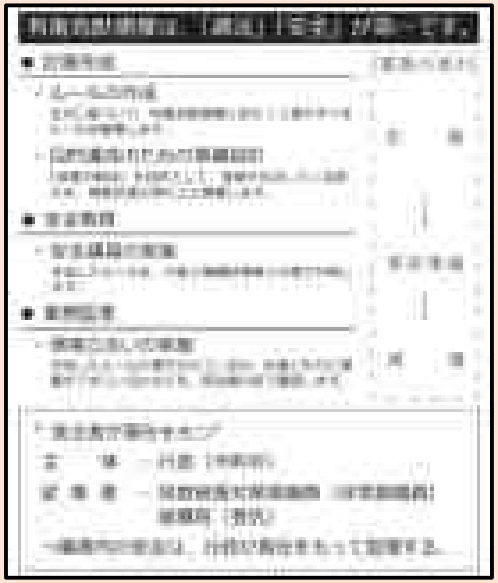
ヒヤリハット
事例の共有

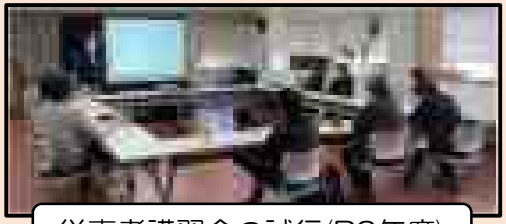
研修の様子(R2年度)

（2）ウ　広域連携による鳥獣被害対策の推進

令和３年度　事業内容 ②（広域連携による外来獣等対策の推進）

　被害対策の一つとして実施される市町村の有害捕獲事業は、地域の狩猟団体等に委託し実施されているが、近年は捕獲作業中の事故の報告も多く、安全管理が大きな課題となっている。
　令和３年度は、市町村が実施する有害捕獲事業の従事者講習会のテキストを作成し、試行的に実施する。





従事者講習会の試行(R2年度)

わなの設置

安全な止め刺し

施策運営目標（アウトカム数値）

事業名	生物多様性に関する情報の共有および流域での取組による生態系サービスの維持・向上	関西カワウ広域管理計画の推進	広域連携による鳥獣被害対策の推進
アウトカム指標（目標数値）	モデルコースの作成（７コース）	被害対策に取り組む構成府県（６府県）	ニホンジカや外来獣等対策に関する理解が深まったとする講座参加者（90%以上）

（３）循環型社会づくりの推進について

広域環境保全局　循環社会推進課

（3）循環型社会づくりの推進について

事業概要

事業名 ： 3R等の統一取組の展開

取組内容：

①プラスチックごみゼロに向けた取組
1.マイバッグ運動の推進
2.マイボトル運動の推進
3.プラスチックごみゼロシンポジウム
4.プラスチックごみ削減事例集の作成

②食品ロス削減に向けた取組

※取組強化月間における統一的な広報、啓発

各取組の概要

①プラスチックごみゼロに向けた取組

3Rの推進に向けて、住民、事業者、団体等とともに、関西地域において、「関西プラスチックスマート」の統一的なムーブメントを展開するための取組を実施する。

②食品ロス削減に向けた取組

住民や事業者等に対して、食品ロス削減に向けた気運の醸成を図るため、統一的に広報活動を行う。

①、②の取組により、廃棄物の発生抑制を図るとともに、循環型社会形成に向けたライフスタイルの転換を図る。

令和３年度　事業内容①
（プラスチックごみゼロに向けた取組）

1．マイバッグ運動の実施（H28～）

携帯電話や財布と一緒に常にマイバッグを持ち歩く「マイバッグ携帯」の啓発動画を平成28年度に公募し、優秀作品をインターネットで配信。

また、オンライン開催する「プラスチックごみゼロシンポジウム」の開始前や休憩時に、優秀作品の動画を配信する。

最優秀作品
動画イメージ

優秀作品 総視聴回数：６８,５５７回（R3.9月末）

（３）循環型社会づくりの推進について

令和３年度　事業内容①（プラスチックごみゼロに向けた取組）

２．マイボトル運動の実施

○マイボトルスポットMAPの運営（H27～）

使い捨て容器の削減を図るため、マイボトルの利用可能な店舗をWEB上で検索することができる「マイボトルスポットMAP」を作成し、チラシ等による啓発を行っている。

R3.9末現在の掲載スポット数 ： ６４９スポット
（R３年度増加数：５６スポット）

R2年度の平均アクセス数 ： ５９５件／月
（R元年度平均アクセス数：５３７件／月）

マイボトルスポットMAPのページ

○マイボトル利用促進キャンペーンの実施

マイボトルの利用促進やマイボトルスポットＭＡＰの認知度向上を図るため、マイボトルを持ち歩くシーンの写真やメッセージ等をＳＮＳ上で募集し、利用促進の啓発効果の高い優秀な作品を表彰するキャンペーンを実施している。

キャンペーンイメージ

実施期間：令和３年10月1日（金）～１２月15日（水）

実施方法：Twitter、Instagram等SNSの利用

主な対象：大学生等の若者を中心に参加を呼びかける

キャンペーンHP　https://www.kbs-kyoto.co.jp/contents/mybottle_kansai/

（3）循環型社会づくりの推進について

令和３年度　事業内容①（プラスチックごみゼロに向けた取組）

３．プラスチックごみゼロシンポジウム

プラスチックごみについての現状・課題を周知し、問題意識を醸成するとともに、これらの取組についての情報提供を通じて、事業者、団体、行政および住民による実践行動を促すことを目的に開催する予定である。

開催日時：令和３年12月（予定）
開催方法：オンライン開催
参加者　：150名程度

○関西における脱プラスチックのライフスタイルの提案（予定）

講演例）

- マイボトルを持参するライフスタイルを実践する個人
- 脱プラスチックに向けてユニークな活動を行う団体
- 脱プラスチックへの取組を実施する企業

など

○プラスチック対策検討会の調査事業報告

「令和３年度プラスチック代替品の普及可能性調査および
プラスチックごみ散乱状況の把握手法等調査事業について」

参考）R2実施
シンポジウムのチラシ

（３）循環型社会づくりの推進について

令和３年度　事業内容①（プラスチックごみゼロに向けた取組）

４．プラスチックごみ削減事例集の作成

関西でのプラスチックごみ削減の取組をさらに加速させるために、先進的な取り組みを行っている事例集の作成を行う予定である。

10程度の事例を収集し、編集・発信する予定。

（事例）

- プラスチックごみ問題に先進的に取り組んでいる小売企業
- プラスチックごみ問題に取り組む飲食店
- プラスチックフリーの生活を営んでいる個人

など

（周知方法）

- 各構成府県市のHPでの掲示
- 関西広域連合のSNSでの発信
- シンポジウムでの紹介

参考）削減事例集イメージ

（３）循環型社会づくりの推進について

令和３年度　事業内容②（食品ロス削減に向けた取組）

○関西一斉フードドライブを通じた食品ロス削減に向けた啓発事業

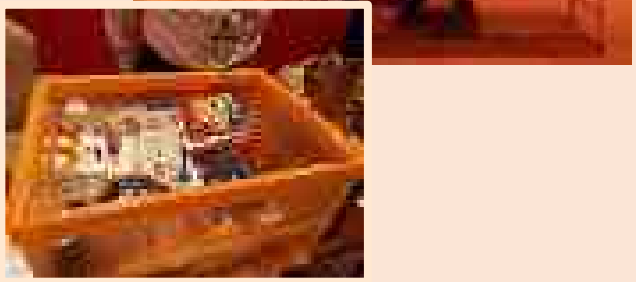
関西広域連合として、関西の複数箇所でフードドライブを実施する。また、関西の様々な団体が実施するフードドライブ活動と協力し、一斉に寄付を呼び掛けるキャンペーンを実施する。

（フードドライブ実施場所　例）

- KBS京都ホール前
- JA関連農業まつり

など

啓発期間：令和３年９月～１１月頃（予定）



フードドライブの開催状況

施策運営目標（アウトカム数値）

アウトカム指標（目標数値）	マイボトルスポットＭＡＰ登録数（新規登録：50以上）
目標達成状況	新規登録数：５６件（9月末現在）

（４）環境人材育成の推進について

広域環境保全局　環境政策課

（4）環境人材育成の推進について

事業概要

事業名　：人材育成施策の広域展開

取組内容：①幼児期環境学習事業

②地域特性を活かした交流型環境学習事業

1.琵琶湖「うみのこ」体験

2.徳島県での自然体験教室

③環境・経済・社会のつながり創生に向けた交流事業

各取組の概要

①幼児期環境学習事業

滋賀県が先行して実施している幼児期の環境学習の指導者研修会等を構成府県市で順次実施することにより、幼児期環境学習のノウハウを共有する。

②地域特性を活かした交流型環境学習事業

自然、歴史、文化など関西の豊かな地域特性を活かした交流型環境学習を行う。参加者を府県市全域から募集することで、当地域の環境や課題等への理解醸成を図ることはもとより、居住地域においても環境を大切にする機運を高める。

③環境・経済・社会のつながり創生に向けた交流事業

環境保全団体・金融機関・企業等における交流を図ることで、環境・経済・社会面でのつながりを構築するとともに、環境保全団体の持続可能な活動の実施や人材育成を促進する。

令和３年度　各事業の開催地域

①幼児期環境学習事業

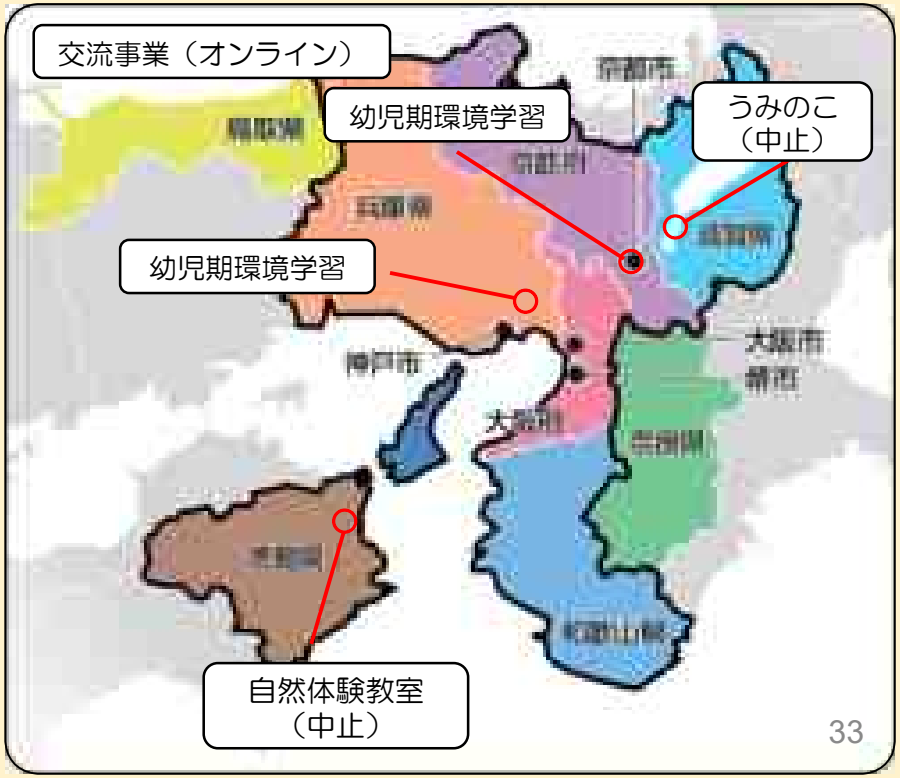
京都市、兵庫県

②地域特性を活かした交流型環境学習事業

滋賀県（中止）、徳島県（中止）

③環境・経済・社会のつながり創生に向けた交流事業

オンライン開催



（４）環境人材育成の推進について

令和３年度　事業内容 ①（幼児期環境学習）

幼稚園教諭、保育士等の幼児教育関係者を対象に、
身近なフィールドでの幼児期における自然体験型保育が実践できる人材を育成する指導者研修会を実施予定（２回／年）

令和３年度開催予定　　兵庫県・・・令和３年11月４日（木）
京都市・・・令和４年１月13日（木）

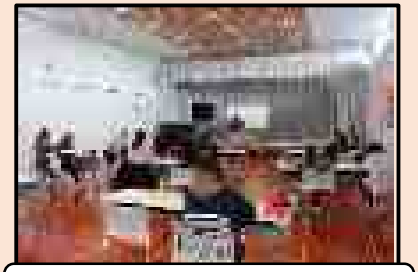
〇講師による公開保育

会場園の周辺にある森や田んぼなどのフィールドで、講師による五感を意識した自然の遊びや学びについての公開保育を実施。参加者は客観的な視点から自然保育について学習を行う。

公開保育の様子

〇座学による講義

公開保育の解説や研究協議、幼児期の環境学習の理論等について講義を実施。環境学習の実施におけるポイントや各地域の自然の活かし方など、環境学習を実施するためのノウハウを共有。



公開保育の解説

〇研修生の自然体験

公開保育の解説等、座学の内容を踏まえて講師の指導の下、保育者自身が自然体験を実施。子どもが楽しむには、まず先生が楽しさを知ることが重要であり、遊びや保育の幅が広がる。

自然体験の様子

令和３年度　事業実績 ②（地域特性を活かした交流型環境学習）

１．琵琶湖「うみのこ」体験

世界有数の古代湖である琵琶湖において、学習船「うみのこ」に乗船し、琵琶湖の生物に関する学習や、琵琶湖の景色の展望をしていただく親子体験航海を７月２４日、８月２１日に実施予定であったが新型コロナウイルス感染症の状況により中止

（4）環境人材育成の推進について

令和３年度　事業内容 ②（地域特性を活かした交流型環境学習）

２．徳島県自然体験教室

ラムサール条約湿地候補地に選定され、干潟特有の貴重な生物が生息している吉野川河口域において、生物多様性や環境保護についての観察会を実施するとともに、その吉野川との関連が深い藍を使用した伝統産業である藍染体験を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の状況により中止。

令和３年度　事業内容 ③（環境・経済・社会のつながり創生に向けた交流事業）

今年度は、交流事業の一環としてＥＳＧ地域金融に着目したつながりを構築するために、
「**ＥＳＧ地域金融の可能性**」をテーマに、２回の連続セミナーをオンラインにて開催予定

日　程　：1回目　令和３年 ９月29日（水）
　　2回目　令和３年11月 ８日（月）

開催方法：オンライン開催

参加者　：１回目　６０名程度
　　（金融機関、企業、NPO、大学、行政）

プログラム（第1回）
- ○ 基調講演
  「ESG地域金融とは何か」
- ○ 事例紹介
  「良質な森林資源“吉野材”を活用した新たな居住様式の創造による地方創生奈良モデル」
- ○ グループディスカッション

施策運営目標（アウトカム数値）

アウトカム指標（目標数値）	事業目的に対する理解が深まった参加者割合（目標数値　90%以上）